2023　年度　授業計画（シラバス）

学　　科	バイオ・再生医療学科		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	講義・実習・演習
科　目　名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	120　(4)　時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員		実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

バイオサイエンス分野の企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人となる準備を進めるとともに、即戦力足り得る人材となる。

《成績評価の方法と基準》

1. 研修報告書・研修日誌・報告会・結果による評価:70%　　2. 研修態度・研修先評価:10%　　3. 出席状況:20%

《使用教材（教科書）及び参考図書》

・研修日誌
・研修先で必要な書類一式

《授業外における学習方法》

・製作物、課題等の対応、ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝの準備

《履修に当たっての留意点》

学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		

2023　年度　授業計画（シラバス）

学　　科	バイオ・再生医療学科		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	講義・実習・演習
科　目　名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	120　(4)　時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員		実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

バイオサイエンス分野の企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人となる準備を進めるとともに、即戦力足り得る人材となる。

《成績評価の方法と基準》

1. 研修報告書・研修日誌・報告会・結果による評価:70%　　2. 研修態度・研修先評価:10%　　3. 出席状況:20%

《使用教材（教科書）及び参考図書》

・研修日誌
・研修先で必要な書類一式

《授業外における学習方法》

・製作物、課題等の対応、ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝの準備

《履修に当たっての留意点》

学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		

2023　年度　授業計画（シラバス）

学　　科	バイオ・再生医療学科		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	講義・実習・演習
科　目　名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	120　(4)　時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員		実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

バイオサイエンス分野の企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人となる準備を進めるとともに、即戦力足り得る人材となる。

《成績評価の方法と基準》

1. 研修報告書・研修日誌・報告会・結果による評価:70%　　2. 研修態度・研修先評価:10%　　3. 出席状況:20%

《使用教材（教科書）及び参考図書》

・研修日誌
・研修先で必要な書類一式

《授業外における学習方法》

・製作物、課題等の対応、ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝの準備

《履修に当たっての留意点》

学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		

2023　年度　授業計画（シラバス）

学　　科	バイオ・再生医療学科		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	講義・実習・演習
科　目　名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	120　(4)　時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員		実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

バイオサイエンス分野の企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人となる準備を進めるとともに、即戦力足り得る人材となる。

《成績評価の方法と基準》

1. 研修報告書・研修日誌・報告会・結果による評価:70%　　2. 研修態度・研修先評価:10%　　3. 出席状況:20%

《使用教材（教科書）及び参考図書》

・研修日誌
・研修先で必要な書類一式

《授業外における学習方法》

・製作物、課題等の対応、ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝの準備

《履修に当たっての留意点》

学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第46回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第47回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第48回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第49回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第50回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第51回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第52回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第53回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第54回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第55回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第56回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第57回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第58回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第59回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		
第60回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し結果を導き出せる。	研修日誌 報告書 結果（途上）	研修内容・課題等に即して、実験・研究・まとめ・報告（発表）等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した実験・研究・実務および学習		